

## 一般ガス事業者の経営効率化努力の実施状況

事業者名	効率化努力目標の内容	達成状況の内容
<p>日本瓦斯株式会社</p> <p>目標の発表</p> <p>平成28年4月</p> <p>達成状況の発表</p> <p>平成29年7月</p>	<p><b>1. 重要項目（概要）</b>            基幹システムのクラウド化による徹底した経営効率化により経営体質を強化し、需要家の利益、顧客満足を増進し、環境に配慮した経営を行うとともに、保安の確保及び安定供給に努めます。</p> <p><b>2. 事業の実施</b></p> <p>(1) 設備投資            年度設備投資額は、高級舗装道への導管埋設の回避、適正導管口径の選択等投資額の低廉化に努めます。</p> <p>(2) 経費の削減            基幹業務システムのクラウド化により、業務効率化による人件費削減、保安調査部門の内製化による経費削減に努めてまいります。</p> <p>保安調査の電子化による業務効率の向上を図り、また、ペーパーレス化による諸経費についても削減に努めてまいります。</p> <p>(3) 人員体制            社員の増員は行わず、会計システムの構築・導入により作業効率を向上し、また社員個々が効率的に業務を遂行してまいります。</p> <p><b>3. サービス・保安の確保</b></p> <p>(1) 料金メニュー            お客様ニーズに対応し、お客様の利益を増進するとともに、当社の経営効率化を図ります。原料のグループ一括購入により、料金の低廉化に務めます。</p> <p>(2) 保安の確保            導管網の見直しを図り、またお客様訪問時に安全ガス機器への移行を促進すると共に、お客様への安全使用に関する周知を実施してまいります。</p> <p>(3) サービスの向上            新たなサービスの提供、地域とお客様に密着した営業活動により、顧客満足度を高めるように致します。</p>	<p>共有サーバのクラウド化を実施し、ペーパーレス化を推進</p> <p>人員を増加せず人工知能や情報通信技術を活用した取り組みを開始</p> <p>原料の購入先をグループで統一し、原料費の低廉化を実施</p> <p>電気、水などとのセット割引を開始</p>

(注) 効率化努力目標及び達成状況を公表していない事業者にあつては、その理由を当該各欄に記載すること。